

平成 23 年 11 月 7 日

各 位

財団法人食の安全・安心財団

理事長 田沼 千秋

食の信頼向上をめざす会

会 長 唐木 英明

第 5 回 食の安全・安心財団意見交換会開催のご案内 『放射性物質の食品健康影響評価』と暫定基準の見直しについて

10 月 27 日内閣府食品安全委員会が「放射性物質の食品健康影響評価」を取りまとめて厚生労働省に通知しました。これを受けて厚生労働省はこれまで暫定的に決められていた食品の規制値を改定することとなっております。

「生涯における内部被ばくの累積実効線量が自然放射線を除いておよそ 100mSv 以上で健康に影響がある可能性」という評価がどのような科学的な背景からなされたのか、外部被ばくの加算をどのように考えるのか、現在の年間 5mSv というセシウムに関する暫定規制値はどのように変更されるのか、などの問題は多くの方が関心を寄せるとともに、今後の放射線防護対策にとっても大きな問題点です。また、この間のリスクコミュニケーションについては、必ずしも適切ではなかったという意見もあります。

当財団では、このような中、メディア・消費者・事業者・行政等の方にお集まりいただき、これらの問題を中心に、意見交換会を実施することになりました。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

1. 日時 平成 23 年 11 月 21 日（月）15:00～17:30
2. 会場 「ベルサール汐留」 2F イベントホール A
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル 2F
3. 内容

【I】講演

- ① 「『放射性物質の食品健康影響評価』設定の経緯・考え方について」（仮）
内閣府 食品安全委員会事務局 リスクコミュニケーション官 新本英二氏
- ② 「食品中の放射性物質に関する暫定規制値の見直しの方向について」（仮）
厚生労働省 医薬食品局 食品安全部 基準審査課 課長補佐 鈴木貴士氏
- ③ 「23 年産米の放射性物質検査とその結果について」
農林水産省 消費・安全局 参事官 吉岡 修氏
- ④ 「リスク評価のリスクコミュニケーション～最近の食品健康影響評価を事例に」（仮）
毎日新聞社 生活報道部 編集委員 小島正美氏

【II】パネル討論 及び 会場との意見交換

〔コーディネーター〕 唐木 英明 氏（倉敷芸術科学大学 学長）

〔パネラー〕 講演者及び食品安全委員会小泉直子委員長を予定

4. 申込方法：別紙申込用紙を FAX 又はメール info-anan2010@anan-zaidan.or.jp でお申込み下さい。

5. 連絡先 財団法人食の安全・安心財団 担当：松崎、森川 TEL 03-5403-1064

第5回 食の安全・安心財団意見交換会

『放射性物質の食品健康影響評価』と暫定基準の見直しについて

参加申込書

参加者お名前	ご所属または貴社名・お役職名

★ご連絡先 (消費者の方は、ご所属の団体名があれば、その団体名をご記入ください)

※恐れ入りますが、下記にご担当の方のご記入をお願い致します。

差しつかえなければ、TEL・FAX・メールアドレスのご記入をお願いいたします。

ご担当者 _____ ご所属 _____ お役職名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

日時： 平成 23 年 11 月 21 日 (月) 15:00~17:30

会場： ベルサール汐留 2F イベントホール A

東京都中央区銀座 8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル

「汐留駅」より徒歩 5 分 (大江戸線・ゆりかもめ) / 「新橋駅」より徒歩 8 分 (JR 線・銀座線)

【会場案内図】

